まるの先生講座 拡張型講座企画書

講師名 久下宗光

講師紹介（自己紹介）
裏千家正教授、淡交会特別師範、U.I.A.学校茶道連絡協議会、八間市茶道連盟会員、中学校、西北地区センター茶道サークル指導

講座名 茶道の世界シリーズ15
口切りの茶事講座

アピールポイント
初夏に摘まれた新茶を壺に詰め半年間かし風味を最上にして口を切る。
亭主は壺の紐と口覆をはずし、御茶入日記を正客前、薄茶上合出し、口覆取り、挽家、諸道具出し、挽家の蓋取る、壺の封印改め蓋はずすと客より濃茶の所望、詰茶少し出し濃茶の器挽家に入れ置、必要分の詰茶挽家に入れ残り壺に戻し、封して捺印する、口覆とともに拝見に出す。

講座内容
茶事の進行解説 待合（現地集い）露地（腰掛待合）亭主迎付
蹲踞、壺入、潜口、小間、入間

初座 席入（床の掛物・壺）（点前座）
口切り、初炭、懐石（点心）、主菓子（縁高）、
退席（床と点前座拝見後 露地に出る

中立 一休憩

後座 後入（床の花・花入・茶壺（真行草の組合せ）点前座
濃茶点前、後炭、薄茶点前（干菓子器にて干菓子）

まとめ アンケート

その他（主催側で準備する物）
（使用する教材）
茶臼（碾茶を抹茶にするための臼）壺の中の碾茶、
掛物③ 花と花入、炉釜、初炭、後炭一式、茶壺袋③着（練）
点心（人数分）濃茶、薄茶、主菓子、干菓子、菓子器（縁高・干菓子器）
懐紙、紙縒、茶巾、茶筅、棟物
懐文字、懐紙、紙縒、茶巾、茶筅、棟物
巾子、喰具、水次ぎ、茶入、蓋、茶碗（点前用）と客用（人数分）
円座（腰掛待合）